

水道水質・環境分析セミナー 2024

～ 水道水質検査の基礎と応用
告示法・通知法の概要と理解するためのポイントおよび
検査方法の最新情報と水質検査の将来予測 ～



開催概要

| 主催 |

アジレント・テクノロジー株式会社
林純薬工業株式会社

| 後援 |

一般社団法人全国給水衛生検査協会
一般社団法人日本環境測定分析協会

| 日時 |

2024年4月18日(木)
10:00 - 17:00

| 会場・定員 |

オンライン 500名
林純薬工業セミナールーム 若干名

| プログラム |

右記の通り
特別講演の要旨は裏面に記載

| 参加費 |

無料

| 申し込み方法 |

アジレントウェブページから



<https://aglt.co/2now>

問合せ先:

アジレント・テクノロジー株式会社
セミナー事務局
電話: 0120-477-111
e-mail: lsca_agilent@agilent.com

林純薬工業株式会社
試薬化成品部分析用標準品・
受託合成グループ
e-mail: mpd.ml@hpc-j.co.jp

拝啓 春暖の候、貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます

本年も水道水質分析および環境分析の最新情報等を提供するセミナーを開催いたします。
セミナーでは、国立医薬品食品衛生研究所 小林 憲弘 先生をゲスト講師にお招きして、水道
水質検査の基礎と応用について特別講演を賜ります。
林純薬工業株式会社およびアジレント・テクノロジー株式会社からは、水道水質分析、環境
分析および試薬などに関する情報をお届けいたします。

皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

敬具

| | |
|---------------|---|
| 10:00 - 10:10 | ご挨拶 |
| 10:10 - 11:30 | 特別講演 水道水質検査の基礎と応用 1 基礎編: 告示法・通知法を理解するためのポイント 国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部 小林 憲弘 先生 |
| 11:40 - 12:10 | 精確な濃度調製のために知っておきたい基本の基 林純薬工業株式会社 |
| 12:30 - 13:00 | ICP-MS, ICP-OES の分析における自動化・省力化のご提案 アジレント・テクノロジー株式会社 |
| 13:10 - 14:30 | 特別講演 水道水質検査の基礎と応用 2 応用編: 検査方法の最新情報と水質検査の将来予測 国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部 小林 憲弘 先生 |
| 14:40 - 15:40 | LC/MS の最先端 ～水道水質検査ワークフローの効率化と PFAS 分析の最前線～ アジレント・テクノロジー株式会社 |
| | GC/MS の最先端 ～代替キャリアの最新事情と MassHunter 最新機能による 解析時間短縮のための新たな提案～ アジレント・テクノロジー株式会社 |
| | FTIR を用いた環境中のマイクロプラスチック定性分析 アジレント・テクノロジー株式会社 |
| 15:50 - 16:20 | 水道水質、環境分析に役立つ試薬のご紹介 林純薬工業株式会社 |
| 16:20 - 16:40 | トークセッション (質疑応答を含む) |

各講演の間には休憩時間が入ります

水道水質検査の基礎と応用 1・2

基礎編：告示法・通知法を理解するためのポイント

応用編：検査方法の最新情報と水質検査の将来予測

講師 国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部
小林 憲弘 先生

要旨

2024年4月の水道水質検査方法の改正では、試薬調製や検量線作成等の試験操作に関する種々の規定が大きく見直される予定である。そこで午前の講演では基礎編として、告示法・通知法にしたがって試験を行うにあたって、検査精度を確保するために知っておくべきポイントについて説明する。また、午後の講演では応用編として、有機フッ素化合物(PFAS)やその他の項目の検査方法の検討状況に関する最新情報と、水質検査の将来展望について紹介する。

HPC/Agilent セミナーウィーク 2024 全プログラム

- ・参加登録いただくと、すべての講演を視聴いただけます。
- ・各講演の間には休憩時間が入ります。
- ・プログラムは予告なく変更になる場合があります。

| 時間 | タイトル | 演者情報 (部署・氏名) |
|--|--|---|
| Day 1：4月16日(火) 化成系・材料分析セミナー | | |
| 13:30 - 13:40 | ご挨拶 | |
| 13:40 - 14:40 | 特別講演 カーボンニュートラル実現に貢献する高性能次世代電池の開発と将来 | 京都大学 大学院工学研究科 安部 武志 先生 |
| 14:50 - 15:20 | カールフィッシャー水分測定 | 日本ハネウエル株式会社 斎藤 新之祐 様 |
| 15:30 - 16:10 | 電池材料の元素分析 ～リチウムイオン電池～ ハンドヘルド FTIR での材料の分析事例 | アジレント・テクノロジー株式会社 株式会社エス・ティ・ジャパン 岸 靖之 様 |
| 16:20 - 16:50 | 耐性試験に用いる人工液の活用 | 林純薬工業株式会社 |
| Day 2：4月17日(水) 食品分析セミナー | | |
| 10:00 - 10:10 | ご挨拶 | |
| 10:10 - 11:10 | 特別講演 オフフレーバー分析の実際について | 上田 泰人 先生 |
| 11:20 - 11:50 | におい分析を始めるにあたって ～オフフレーバーワークフロー初級編～ | アジレント・テクノロジー株式会社 |
| 12:00 - 12:30 | オフフレーバーキットと使い方 | 林純薬工業株式会社 |
| 12:40 - 13:10 | メタボローム解析技術を用いた食品中の機能性成分の一斉解析手法のご紹介 | アジレント・テクノロジー株式会社 |
| 13:30 - 14:50 | 特別講演 SFC-TOF MS の特性を生かした残留農薬分析 ～標準添加回収検量線による真値へのアプローチと SFC 特有のイオン化に関する考察～ | 株式会社食品検査・研究機構 安藤 孝 先生 |
| 15:00 - 15:50 | MassHunter 最新機能を用いた残留農薬分析における データ解析の効率化と自動化 | アジレント・テクノロジー株式会社 |
| 16:00 - 16:30 | 機器のトラブルシューティングを数日から数分に短縮する方法 | アジレント・テクノロジー株式会社 |
| 16:30 - 16:50 | 残留農薬分析に使用する標準品、標準液の管理 トークセッション | 林純薬工業株式会社 |
| Day 4：4月19日(金) 午前 LCとGCの基礎ウェビナー第3回 | | |
| 10:00 - 10:05 | ご挨拶 | |
| 10:05 - 10:10 | GC、LC のよくあるご質問と最新技術の取り入れ方 | アジレント・テクノロジー株式会社 |
| 10:10 - 10:25 | LC の失敗しない分析の工夫と高速分析への応用 | アジレント・テクノロジー株式会社 |
| 10:25 - 10:40 | GC のパックドカラムからキャピラリーカラムへのメソッド移行 | アジレント・テクノロジー株式会社 |
| 10:40 - 10:50 | 質疑応答 | |
| Day 4：4月19日(金) 午後 機器分析に役立つデータサイエンスウェビナー | | |
| 13:00 - 13:05 | ご挨拶 | |
| 13:05 - 14:10 | 特別講演 食・農データサイエンス： コーヒー香気成分の分析データ・化学構造処理によるデータ・マイニング | 奈良先端科学技術大学院大学 金谷 重彦 先生 |
| 14:20 - 15:05 | 残留農薬分析のためのデータサイエンス活用事例紹介 | 林純薬工業株式会社 |
| 15:10 - 15:55 | 失敗しない多変量解析のための質量分析データ取得・解析のポイント | アジレント・テクノロジー株式会社 |

アジレント・テクノロジー株式会社

〒192-8510 東京都八王子市高倉町 9-1
TEL.0120-477-111

DE99694202

